

● 目次

- 1 北野社家文書について
- 3 私の図書館—中国農業大学西校区図書館紹介—
- 5 本学教官寄贈著書紹介
- 6 電子ジャーナル・フォーラムについて
- 7 Current Contents と MEDLINE の使い方について
- 10 Ask Us としょかんミニガイド
- 12 私の一冊
- 12 とびつくす
- 13 掲示板
- 14 平成11年度筑波大学附属図書館開館日カレンダー

北野社家文書について

山本 隆志

筑波大学附属図書館には、北野神社（北野天満宮）関係史料が纏まって所蔵されている。社家梅松院の日次記（引付）や同院旧蔵文書である。

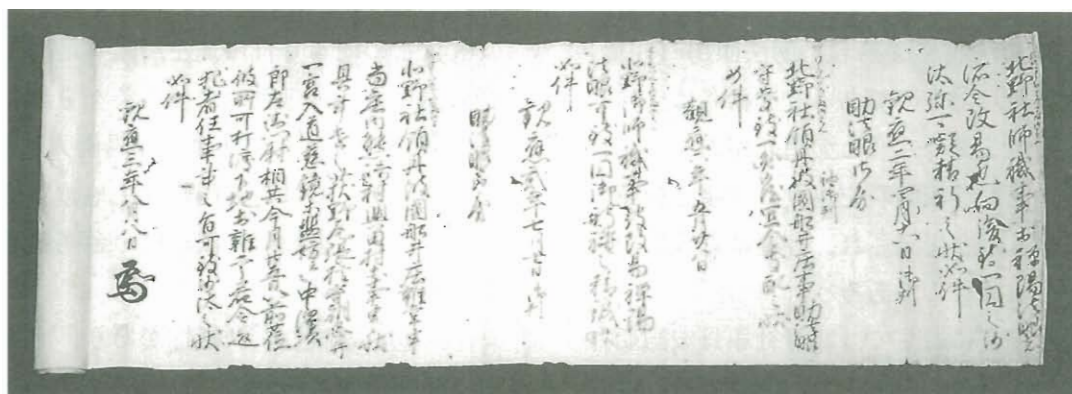
社家梅松院旧蔵史料は、現在では北野神社・筑波大学・京都大学・東大史料編纂所などの所蔵となっているが、筑波大学附属図書館に相当部分が収められている。この中、引付は『北野社家日記』（全6冊、史料纂集）として、文書は『北野神社文書 筑波大学所蔵文書（上）』（史料纂集）として、刊行されている。

筑波大学所蔵の北野神社史料は、東京文理科大学以来のものであり、1950年代には研究に利用されていた。竹内秀雄氏は、北野神社（北野天満宮）

の成立から明治期まで、多面的に究明して『天満宮』（日本歴史叢書、昭和43年、吉川弘文館）を著わして、北野神社の組織・領地など詳しく述べている。

北野神社の領地は室町中期には80ヶ所を数えるが、そのうち丹波国船井庄の領有関係は比較的分かりやすく、竹内氏も詳述している。

ところが、1998年10月、東京神田の古書会館の古典籍展示会に北野神社文書一卷が出品され、筑波大学が購入するところとなった。江戸後期に写したものであるが、9通の文書が収められている。現状の順に紹介する。



- ①観応2年4月18日足利直義御教書案(写)
〔助法眼御房宛〕
- ②観応2年5月28日足利義詮御袖判教書案(写)
- ③観応2年7月7日足利尊氏御教書案(写)
〔助法眼御房宛〕
- ④観応3年8月8日足利義詮御教書(写)
〔酒井次郎衛門尉殿宛〕
- ⑤観応2年10月23日某御教書案(写)(前欠)
〔北野宮社僧中宛〕
- ⑥観応2年2月1日足利直義御教書案(写)
〔助法眼房宛〕
- ⑦建武3年8月18日足利尊氏御教書案(写)
- ⑧建武3年8月18日足利直義御教書案(写)
- ⑨永享元年10月28日足利義教袖判教書案(写)

①～⑥は3紙を継いだ料紙に書写されている。また⑦～⑨は別の3紙を継いだ料紙に書写されていて、⑨の裏には花押(不詳)が写されている。書写の時期は、書体・紙質から江戸後期と見られよう。

次に内容を紹介したいが、書写の一括性を考慮して、まず①～⑥から始めるが、年次順にしよう。

⑥が観応2年2月1日と最も古いが、これには「にしきこうちとのさま御はん」との追記がある。足利直義が助法眼房に祈祷を命じたものである。「助法眼房」とは北野宮寺御師光蘭院守慶である(前掲『天満宮』)。室町幕府を開いた足利尊氏・直義は北野神社への尊崇の念厚いものがあつたが、直義には御師守慶が従っていた(尊氏には松梅院禅陽)。前々年以來対立関係にあつた尊氏・直義は観応2年2月に和解したが、⑥はこの前後に出された。

①は⑥の2月半ほど後のものだが、北野社御師職につき、禅陽法眼を改易し、助法眼房(守慶)に一円沙汰を命じたものである。発給者は「にしきこうちとのさま御はん」との追記があり、足利直義である。北野社御師職を巡り、守慶と禅陽の争いが激しかったと想定され、守慶は直義に一円沙汰の文書を求めたのであろう。

②は助法眼守慶に対して、「北野社領丹波国船井庄」の一円沙汰を命じたもので、発給者は「はう

けんいんとのおさま御はん」とあり、足利義詮。守慶は北野社御師職を独占するとともに、社領船井庄の一円沙汰権を獲得したのである。

③も同年7月のものだが、①と同趣旨である。ただ発給者は「とうちいんとのおさま御はん」とあり、足利尊氏である。守慶は尊氏・直義の両者から北野社御師職を安堵されたのである。

⑤は前欠だが、「北野宮社僧中」に大般若経転読を命じた御教書であるが、発給者が日下に「御判」と記されるだけだが、幕府からであることは間違いなからう。

④は翌年8月のものである。社領船井庄では、熊崎村・興田村で荻野朝忠・一宮慈鏡らの濫妨があり、北野社の雑掌はそれを幕府に訴えた。幕府は、酒井次郎左衛門尉に対して、中沢次郎左衛門尉とともに下地を雑掌に打渡すよう命じたのが、この文書である。社領船井庄は守慶の一円沙汰権のもとにあつたことは②で確認されるところであり、雑掌は守慶の命令下にあつたと見てよい。守慶は、この文書により、船井庄現地を横領している在地武士を追い出す根拠を得たのである。

こうして、①～⑥は助法眼守慶に関わる文書群であり、守慶が受益者たることを示している。守慶が得た文書群(1部か)を写したものであろう。

⑦～⑨は、上記に対して、内容を異にする。

⑦は足利尊氏が北野社に対して、「天満宮本地供養法」を毎日一座修行する費用として丹波国船井庄得点を宛てること、守慶・禅陽二人の沙汰として勤行すべきことを命じた。建武3年8月という、尊氏の入京直後のものである。禅陽は尊氏に従い、九州多々良浜の合戦で祈祷したといわれ、尊氏の信頼があつた。

⑧はこの同年月日に、左馬頭(足利直義)が北野天満社僧に毎日勤行すべき条々を命じたものだが、長日不断常燈を守慶・禅陽二人に勤仕させ、その費用としては丹波国船井庄地頭職得点を宛てること、また大般若・法華経・金剛般若経の転読が規定されている。

⑦・⑧は連続性・一括性があり、一緒に書写される必然性がある。

⑨は、北野祠官真満院僧都幸隆の訴えに任せて、社領丹波国吉園庄領家職以下6ヶ所の知行を安堵したものである。時期も永享元年(1429)と、年代が離れている。真満院僧都幸隆に関わる点といい、他の文書との関連は不詳である。

以上、今回所蔵されるところとなった北野社家文書を紹介してきたが、すでに竹内氏『天満宮』

で取り上げられている文書と同内容のものもある。どの文書が固有のものか、今後の比較検討が必要であろう。北野神社文書は分散している故、全体的な考察が困難だが、調査の進展を期待したい。こうした調査・研究が進めば、筑波大学所蔵の北野社関係史料の重要性が一層深まるものと思われる。

(やまもと・たかし 歴史・人類学系教授)

私の図書館

—中国農業大学西校区図書館紹介—

李 晨英

私は中国政府の派遣で1998年10月19日に筑波大学に参りました。電子・情報工学系の西原清一教授のご指導で、附属図書館で1年間の研修をしています。

この度、『つくばね』編集委員会のご依頼で、私の図書館を紹介するチャンスを与えて頂いて、とても光栄です。

中国農業大学という名前をご存知の方はたぶん非常に少ないと思います。私の図書館を紹介する前に、まず、私の所属大学—中国農業大学を紹介します。

中国農業大学 (<http://www.cau.edu.cn/>)

当大学は1995年に旧北京農業大学と北京農業工程大学が合併して出来た、中国で最大規模の農業大学で、中国の農業と農村の発展に力を入れる農業に関する学科が中心ですが、他に文学、理学、経済学などの学科を含む総合農業大学です。

今、当大学は生物と生命科学、工学と技術科学、資源と環境科学、経済と社会発展、情報とコンピュータ技術の五つの学群に分けられています。職員全部で3,200人、そのうち教官は1,200人近くです。教官は、中国科学院院士と中国工程院院院士10人(これは中国の学术界で最高のものである)がおり、そのほか教授188人、助教授533人です。在学学生は全部で約8,000人、修士課程学生733人、博士課程学生360人です。

大学は合併した為に、キャンパスも二つあります。元の北京農業大学キャンパスは現在西校区と呼び、北京市北西にある有名な西太后のサマーパレスと圓明園に近いところにあります。元の北京農



業工程大学は現在東校区と呼び、西校区と10kmぐらい離れています。大学総面積は129ha、施設面積は36万㎡です。本部は西校区に位置しています。附属図書館も西校区図書館と東校区図書館があります。

当大学はアメリカ、ドイツ、日本など20ヶ国以上の国の50大学と友好関係を締結しています。校内に中国—ドイツ総合農業発展センター、中日農業機械補修と養成センター、中国—イスラエル国際農業養成センター、中日神内農牧経営研究センターなど、四つの研究センターを設置しています。当大学と東京農業大学は、毎年15名の学生を交換して4週間の研修を行っています。

また、当大学は1990年に日本人の支援で、ラグビー・チームを設立して、中国国内大会で連続優勝し、国際大会でも良い成績をおさめました。今、中国の“国家青年一隊”になって、国を代表して国際試合に参加しています。

当大学は“211プロジェクト”をきっかけにして、合併の長所を生かし、“高水準、総合性、国際化、多機能”を目標にして、世界の有名大学の一員を目指しています。

中国農業大学西校区図書館(<http://www.lib.cau.edu.cn/>)

私の勤めている西校区図書館は、元北京農業大学附属図書館です。人・物・金とデータベース・利用者サービス・国際交流等について簡単に紹介します。

1. 組織構成

当館の職員は合計62名で、学歴はほとんど大学卒業で、4名が修士課程卒業です。また助教授と同レベルの研究職の副研究館員は7名で、組織構成は下記の通りです。

図書館館長と党総支部書記

副館長と副党総支部書記

采訪部(文献収集と図書・雑誌受入)

編目部(データベースとカタログ作成)

流通閲覧部(利用者サービス全般)

声像部(視聴覚メディア全般)

参考諮問部(レファレンス)

自動化部(システム管理とソフト開発)

技術部(図書館関係の業務開発)

文献課教育研究室(文献検索授業担当)

外国教材中心(教育部農学外国教科書センター)

農林中心(教育部文献保障システム農林センター)

事務室(財務管理と一般的事務)

2. 施設と設備

当館の建物は1990年10月に竣工したもので、白いL字型の美しい建物です。施設面積は12,000m²、閲覧席は1,200席、収容可能蔵書数は150万冊、現在蔵書数は80万冊です。館内は視聴覚施設、パソコン、書架、机、椅子など設備から、コンピュータ管理システムと全面開架方式で、最近の中国で最も進んでいることで注目されています。1998年に、国の“211プロジェクト”の経費でATM学内基幹LANを整備し、サーバと利用者用端末なども増設して、附属図書館WWWページを本格的に公開しました。

3. 経費

当館の年間大学予算経費は105万元人民幣です。これ以外にプロジェクト費用もあります。例えば、中国国家重点大学“211プロジェクト”建設費で、ネットワークもこの費用により整備されました。また、二つのセンターもプロジェクト費で設けられました。中国の農業大学の中でも、特に恵

まれているほうですが、雑誌と図書価格の高騰で、やはり雑誌の定期購読タイトル数と図書の受入冊数は、減る一方です。

4. データベースについて

当館では1986年から洋書、1987年に中国語図書、1993年に日本語図書の電算処理が始まりました。これは、中国で書誌データベースの構築を始めた時期としては、最も早いほうです。1990年の新館開館と同時に、書誌データベースの蓄積により、コンピュータシステムで管理できるようになりました。現在までに、当館の職員の努力で雑誌所蔵データベースの構築は終わり、蔵書ファイルの中に収められています。1975年から受入れた中国語図書と洋図書の書誌データの遡及入力も終わりました。しかし、日本語図書の遡及入力はまだ終わっていません。中国教育部の“大学文献保障システム農林センター”を設置していますので、農林学科に関するいろいろなデータベースの構築も始まりましたが、発信できるものはまだ少しだけです。

5. 利用者サービス

利用者サービスとしては、当館は普通の閲覧・貸出以外に、相互利用・文献代行検索・研究課題の考察など様々なサービスを行っております。利用者はネットワークを通じて、蔵書検索から、予約・更新、CD-ROM検索、農業教育ビデオの視聴まで出来ます。当館への入館は社会に開放して、図書館資源が最大限利用されるように努力しています。サービスの内容と水準を改善するに連れて入館者が増えつつあり、開館日の入館者数は1日平均3,000人以上になっています。

6. 国際交流

当館は長い間、国際交流を重視してきました。当大学に訪れる外国の来訪者のほとんどが図書館を見学します。私達はできるだけ良い準備と案内をする以外に、様々なチャンスを活用して交流を行ってきました。当館はアメリカ、ドイツ、日本などの数多くの国の関連組織と資料交換を行い、特に日本との交流は頻繁です。

当館は日本の20以上の大学及び農林水産省図書館と資料交換を行っています。また農山漁村文化協会を始め、日本農業書協会から図書・雑誌の寄贈を

頂いており、農業文献の利用から、古農書、農業に関するさまざまな面で、ご指導を頂きました。長い間の農山漁村文化協会坂本尚専務理事のご協力とご指導に対して、当大学学長から中国農業大学附属図書館客員研究館員の名誉職を差し上げました。

終わりに

中国は農業人口が主流である人口の多い国ですから、当大学は国の重点大学として、教育以外に、農業関連分野の科学研究・技術開発と普及の責任も背負っています。当館はこれらの使命を果たすため

に、より良いサービスをしなければなりません。現在の情報化社会に直面して、図書館職員に対する要求も厳しくなりつつあり、図書館職員として国際交流も行わなければならない段階に入ったと思います。今度、この場をお借りして、私は当館の職員と利用者を代表して、長い間、ご協力とご援助をくださいました日本全国のお世話になった方々に心よりの感謝を表すと同時に、より多くの日本人が中国農業について関心を持ち、私達と更に広い交流が行われるよう切に希望しています。

(Li・Chenyng 中国農業大学附属図書館館員)



本学教官寄贈著書紹介

平成10年12月～平成11年2月に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介します。(敬称略、寄贈者五十音順、所属は平成10年度のものです。)

岩堀修一(農林学系)カンキツ総論. 養賢堂, 1999 [625.3-I92]

川西宏幸(歴史・人類学系)古墳時代の比較考古学: 日本考古学の未来像を求めて. 同成社, 1999 [210.2-Ka96]

木村達雄(数学系)概均質ベクトル空間. 岩波書店, 1998 [414.7-Ki39]

駒井洋(社会科学系)脱オリエンタリズムとしての社会知: 社会科学の非西欧的パラダイムの可能性. ミネルヴァ書房, 1998 (Minerva 21世紀ライブラリー47) [30I-Ko57]

桜井茂男(心理学系)子どものストレス: たくましい子に育てるストレス対処法. 大日本図書, 1998 (New心理学ボックス) [37I.45-Sa47]

佐藤一雄(社会科学系)アメリカ反トラスト法: 独占禁止政策の理論と実践. 青林書院, 1998 [335.57-Sa85]

平良和昭(数学系) Brownian motion and index formulas for the de Rham complex. Wiley-VCH, 1998 (Mathematical research 106) [417.1-Ta23]

高津道昭(芸術学系)アトランティスはここだ!: 検証ユカタン半島. 新潮社, 1998 (新潮選書)

[209.3-Ta55]

徳田克己(心身障害学系)社会福祉学エッセンシャルズ. チャイルドセンター, 1999 [369-Mo12]

根本誠二(歴史・人類学系)奈良時代の僧侶と社会. 雄山閣出版, 1999 [182.1-N64]

水野建雄(哲学・思想学系)デイルタイの歴史認識とヘーゲル. 南窓社, 1998 [201.1-D74]

宗像恒次(体育科学系)「自ら愉しむ人間」のすすめ: 心をゆるやかにする心理学. 聖紀書房, 1998 [146.8-Mu32]

藤田和弘(心身障害学系)日本版 WAIS-R の理論と臨床: 実践的利用のための詳しい解説. 日本文化科学社, 1998 [371.7-Ko12]

山下亀次郎(臨床医学系)代謝・内分泌疾患緊急時のアプローチ: 病態から診断・治療へ. メジカルビュー社, 1998 [493.12-Y44]

横浜康継(生物科学系)海藻おしば: カラフルな色彩の謎. 海游舎, 1996 [474-Y75]. 海藻おしばを楽しむ: 海からの贈り物. 日本ヴォーグ社, 1998 [594.9-N92]. 海藻はふしぎの国の草や木. 福音館書店, 1998 (たぐさんのふしぎ傑作集) [474-Y75]

若林幹夫(社会科学系)都市のアレゴリー. INAX 出版, 1999 (I0+1 Series) [361.78-W17]



電子ジャーナル・フォーラムについて

小西 和信

去る1月25日(月)、東京大学附属図書館大会議室において、標記フォーラムが開催された。関東地区と東京地区の国立大学図書館協議会共催の本フォーラムには、両地区協議会加盟館とオブザーバー館、来賓の文部省学術情報課と学術情報センター、及び海外学術出版社4社から、101名の参加があった。



まず、六本佳平東京大学附属図書館長の開会挨拶に続き、参加者の電子ジャーナルに対する知識整理を兼ねて、東京工業大学附属図書館の大原寿人氏と東京大学大学院農学研究科の増田元助手のお二人から「電子ジャーナルの現状と問題点」に関する基調報告があった。

ついで、両氏から東京工業大学と東京大学における電子ジャーナルの導入の現状と利用状況についての事例報告がなされた。

休憩をはさんで、シュプリンガー・フェルラーク、アカデミック・プレス、エルゼビア・サイエンス、ジョン・ワイリーの4社から、各社の電子ジャーナルの開発・提供の現状について、デモンストレーションをまじえた報告が行われた。

このあと、土屋俊千葉大学附属図書館長の司会のもとで、質疑応答と討論が行われた。

この中で、電子ジャーナルの価格体系、アーカイブの保存、ILLへの対応などの問題について突っ込んだ質問が出された。

また、冊子体と電子ジャーナルが今後どのように推移していくかという参加者の疑問に対して、各社とも将来にわたって冊子体を残していく見通

しであると表明された点は新鮮であった。

更に、参加者の中から、地方の大学等では電子ジャーナルに関する情報が不足しているにもかかわらず、研究者からはサービスを強く求められており、図書館は苦慮している旨の発言もあった。

このあと更に議論が沸騰する様相を呈していたが、当初の予定時間を超過したこともあり、斎藤武生筑波大学附属図書館長の閉会挨拶をもってフォーラムの幕が閉じられた。

今回のフォーラムは、電子ジャーナルの導入が図書館の焦眉の問題になりつつある現時点で、導入の意思決定にあたる図書館の管理者及び関係職員が、電子ジャーナルに関する最新情報をまとめた形で得るところに主眼があったと思う。

その意味では、主要な出版社のプロジェクトの概要と導入先行館の事例を知りえたことは大きな収穫であった。

もちろん、たった一回のフォーラムで、導入を決定するための十分な情報を得られると期待するのは無理があるだろう。例えば、電子ジャーナルの導入では、大学間での共同購入=コンソーシアムの問題が重要な課題になるが、今回は、その点については触れることができなかった。

今後、この種の催しが継続的に企画されることが期待されることである。

なお、このフォーラム以降、一部の出版社からは新たな提案が出されており、それへの対応も個別の大学単位ではなく、フォーラム参加機関間での連携がとられるようになった。これは、本フォーラム開催の特筆すべき成果だといって良いのではないだろうか。

おそらく近い将来、多くの図書館で電子ジャーナルに対する何らかの決断をしなければならない事態が生じるように思われる。このフォーラムがその検討のための材料を提供できるとしたら、企画準備に携わった一人として望外の喜びである。

(こにし・かずのぶ 情報システム課長)



Current Contents / MEDLINE の使い方について

図書館のホームページからたどれる学術論文データベースとして、外国の学術雑誌目次情報データベースである「Current Contents」と、外国の医学・生物学関係の文献データベースである「MEDLINE」があります。これらについては1月

から新しい検索ソフトに変更され、同じくここからたどれる、生物学文献情報データベース「Biological Abstracts」と同じ検索方法になりました。それに伴い検索の方法も多少変更されていますので、ここで改めて紹介させていただきます。

○ 開始

1. 図書館のホームページ <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/> の「学術論文情報データベース」のデータベース名の部分をクリックします。当画面は、「Biological Abstracts」の方をクリックして下さい。

なお、学内LANにつながっている端末からのアクセスのみ可能となっています。

2. 「Database Selection」の画面になりますので、検索対象とするデータベースと期間の選択をし、Search をクリックします。

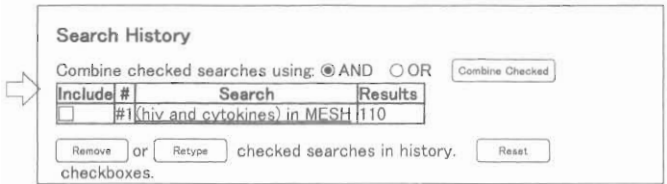
具体的にデータベースを選んで検索してみましょう。

データベース——MEDLINE
期間——1997年
キーワード——'HIV' and 'Cytokines'
著者名——'Shearer WT'

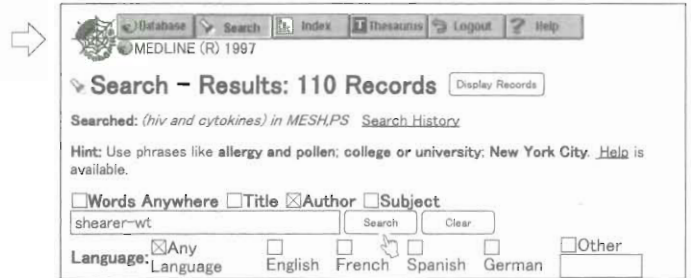
○ 検索

1. 検索画面になりますので、Subject を選んで'hiv and cytokines' と入力し、Search ををクリックします。入力する文字は、大文字・小文字のどちらでも結構です。

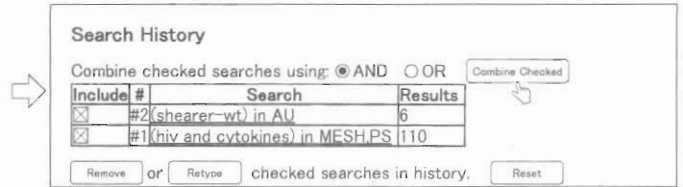
2. この2つのキーワードを含む論文は110件あると結果がでました。Search History に#1 として履歴が残ります。また、ここをクリックすると論文の内容を見ることができます。



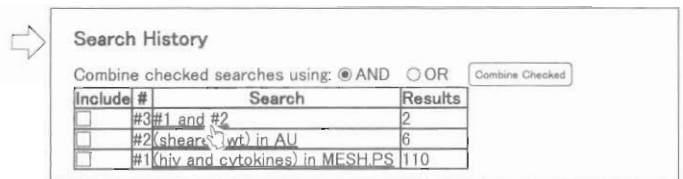
3. 次に、Author を選んで 'shearer-wt' と入力し、Search をクリックします。



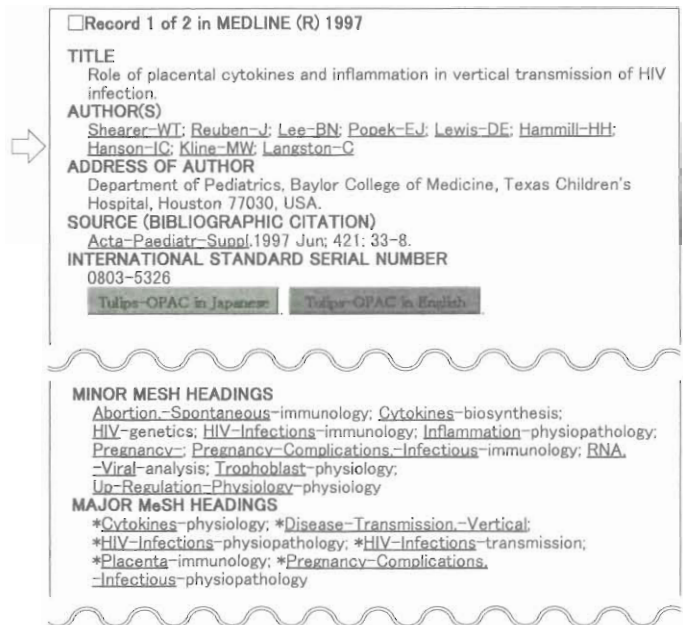
4. この著者の論文は、6件あると結果が出ました。#2 として履歴が残ります。検索履歴欄の #1 と #2 をチェックし、Combine Checked をクリックして AND 検索をします。



5. 2件あると結果が出ました。#3 をクリックして論文を表示させます。



6. 論文が表示されました。中ほどにある Tulips-OPAC のボタンをクリックすることにより、この論文が収録されている雑誌の、本学の所蔵状況を検索することができます。なお、この検索については日本語版と英語版を選択することができます。



○ 終了

Logout をクリックして検索を終了させます。

○ シソーラス機能による検索について

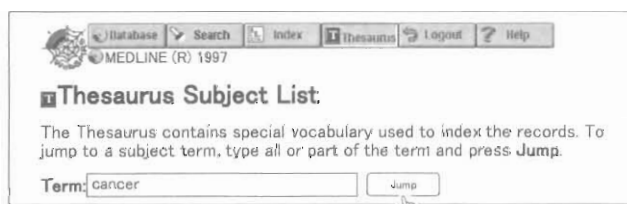
(※ MEDLINE のみの機能です。)

シソーラスとは、検索用語に一貫性を持たせるため、同義語を統一して一語に代表させた用語集のことです。MEDLINE では MeSH (Medical Subject Headings ;メッシュ) というシソーラスが用い

られており、MeSH で検索することにより、より求める主題に近い論文を漏れなく拾い出すことができます。ここでは「癌」のシソーラスを確認してみましょう。

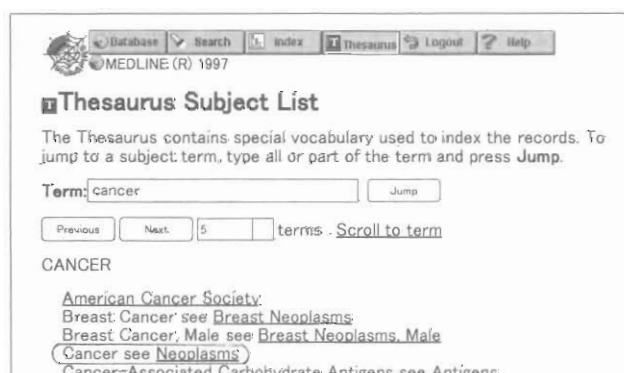
1. Thesaurus をクリックし、「Thesaurus Subject List」に移ります。

そこで、「癌」の思いついた英訳 'Cancer' を入力し、Jump をクリックします。

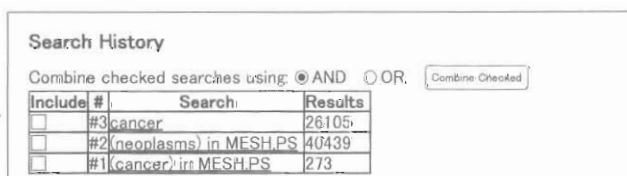


2. 'Cancer' を含む MeSH および MeSH 以外の用語から MeSH への転換指示がアルファベット順に表示されます。ここで 'Cancer' の MeSH は 'Neoplasms' と確認できました。ここをクリックすることにより検索が行われます。

MeSH である 'Neoplasms' で検索することにより、タイトル等に 'Cancer' ということがなくとも「癌」が主題となっているものを拾い出すことができます。



3. 右の #1 と #2 は、'Cancer' 'Neoplasms' それぞれの Subject による検索結果で歴然と差が出ています。また、#3 は 'Cancer' の Words Anywhere による検索ですが、この中には「癌」が主題となっていないものも含まれてしまいます。



これらをはじめとした図書館の文献情報データベースは、比較的簡単な操作で必要な情報を効率良く収集することができますので、是非御利用く

ださい。なお、御不明な点等ありましたら、各図書館のレファレンスデスクにお問い合わせください。



図書館で図書を探すには？(請求記号の見方)

～中央図書館にて～

Q: WWWのOPACを検索して、「芥川龍之介全集 第5巻」「文芸年鑑1998年版」「日本文学講座第13巻」の3冊の本が中央図書館にあることがわかったのですが、どこを搜したらよいのでしょうか。

A: 所蔵データの請求記号は図書の背に貼られている図書ラベルと対応しています。書架を搜すときには、図書ラベルを手掛りに搜します。それでは請求記号を順番にみていきましょう。

1冊目 書名：芥川龍之介全集 第5巻
請求記号：918.68-A39-5

A: 図書ラベルは3段になっています。1段目は分類番号、2段目は著者記号、3段目は全集の巻次などが表示されます。この図書は請求記号が数字で始まっているので、NDC(日本十進分類法=Nippon Decimal Classification)分類図書です。中央図書館では、分類番号を次ページの表1のように階ごとに分野別に分けて配置しています。同じ分類番号の中ではさらにラベル2段目で、著者記号の順に並んでいます。お搜しのこの図書は、請求記号が918.68ですから、中央図書館では本館3階に配置されます。

2冊目 書名：文芸年鑑 1998年版
請求記号：Z91-B-1998

A: このような請求記号が'Z'で始まっている図書は、Z物(ゼットモノ)と呼ばれています。

Z物とは、逐次刊行図書のことで、年鑑・年報・統計書を含みます。Z物の分類番号は、Z物を表す'Z'とNDCの頭2桁との組合せで出来ています。Z物は、次ページの表2のようにNDC図書と一緒に該当する主題の先頭に配置されています。お搜しの図書は、分類番号がZ91となっているので、3階の910(日本文学)の先頭にあります。

3冊目 書名：日本文学講座 第13巻
請求記号：ル106-60-13

A: こちらの図書は、東京教育大学分類図書(旧分類図書)と呼ばれるものです。中央図書館の1階

と中2階に配置されている、筑波大学の前身の旧東京教育大学時代までの図書約45万冊は、東京教育大学独自の分類によって分類されています。これらは次ページの表3のようにNDCで分類された図書とは別置されています。東京教育大学分類は和洋に区別され、請求記号はそれぞれ和書はイロハ、洋書はABCで始まっています。お搜しの図書は、1階にあります。図書の配置図は、中央図書館本館1階の旧分類書架入口に掲示してありますので、詳しい場所はそちらをご覧ください。

東京教育大学分類図書は、従来はカード目録や冊子体目録でしか捜せませんでした。これらの古い時代に受け入れた図書のデータもOPACで検索できるように、現在、遡ってデータ入力を行っています。この入力作業は1996年度から大規模に始まり、現在も順調に入力が行われていますので、OPACを検索すると、請求記号がイロハやABCで始まる図書のデータがヒットすることも多くなりました。

Q: ところで、なぜ図書館の本には分類番号がつけられて、図書ラベルが貼られているのでしょうか。

A: 図書館では、図書が届いたら、そのまま書架に並べるのではなくて、図書の書名や著者、出版社、出版年などのデータの他に、図書の内容から分類番号を決定して、皆さんに利用してもらうOPACのもとになるデータを作っています。書名などがわからなくても、該当する主題の分類番号を調べれば、OPACを検索することが出来ますし、筑波大学の図書館は原則として全面開架なので直接書架を搜すことも出来ます。そして、OPACデータをみた人が本にたどりつくことができるように、図書の背表紙にラベルを貼っています。これらの作業はNDCで分類されている図書も東京教育大学分類図書も、図書館の和書データベース係と洋書データベース係が担当しています。書店などと比べて図書館に置いてある資料はずっとずっと数も多く、分野も年代も多岐に渡っているので、もしこの作業が行われなければ、受け入れた本はあっという間に蔵書の海の中に埋もれて見つけ出せなくなってしまうでしょう。



1. NDC分類図書



配列の順序 表2

分類	主題
900	文学
Z91	(逐次刊行図書)
910	日本文学
918	作品集： 全集、選集
918.6	近代
918.68	個人全集 ・選集

表1 日本十進分類表 (NDC)

分類の頭文字	主題・内容	分野	中央図書館
0	総記	総記	本館3階
007	情報科学	自然	本館5階
1	哲学	人文	本館3階
2	歴史		
3	社会科学	社会	本館4階
4	技術・工業	自然	本館5階
5	自然科学		
6	産業	社会	本館4階
7	芸術	人文	本館3階
8	言語		
9	文学		

表3 東京教育大学分類表 (旧分類)

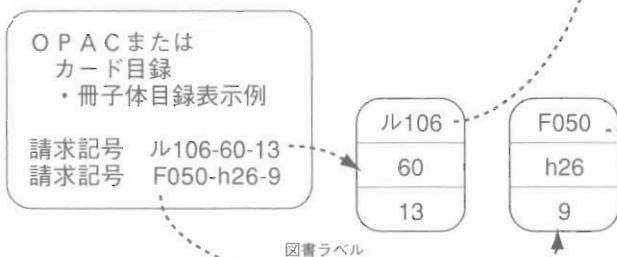
分類の頭文字		主 題	中央図書館	
和漢書	洋書			
イ	A	一般書	本館1階	
ロ	B	哲学		
ハ	C	宗教神祇		
ホ	D	教育		
ヘ	D'	教科書		
チ	E	語学		
ル	F	文学	本館中2階	
カ	G	芸術		
ヨ	H	歴史		
タ	J	伝記		本館中2階
ネ	K	地理		本館1階
ム	L	法律		本館中2階
ワ	M	政治行政		
オ	N	経済財政		
ヤ	P	社会		
ケ	Q	統計		
コ	R	数学		
テ	S	自然科学		
ア	T	工学		
サ	U	医学		
キ	V	軍事		
ヒ	W	産業		
モ	X	交通		
セ	Y	家政		
ス	Z	諸芸遊技		

2. 逐次刊行図書 (Z物)



★探すコツ★
Z91は、910代の先頭に置いてある

3. 東京教育大学分類図書 (旧分類図書)



※旧分類図書は順次データ入力作業を行っていますがすべての図書のデータが入力されているわけではありません。調べものをする際には、カード目録・冊子体目録も併用して下さい。

中央図書館の詳細な資料配置図等
<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/reference/haichizu/loc.html>



私の一冊

駒井 洋

「脱オリエンタリズムとしての社会知」

駒井 洋編（ミネルヴァ書房 1998）

〔中央図：301-Ko57〕



オリエンタリズムと名付けられた言説の存在はサイドにより指摘されたものであるが、かれの問題提起は世界的にもますます大きな反響をよんでいる。オリエンタリズムとは、西欧産の学問が非西欧を対象とするとき、それは例外なく非西欧を支配するための権力的言説として構築されてきたとするものである。しかしながら、サイドはオリエンタリズムの批判をするのみであって、それに対抗しうる言説についてはまったく考慮していない点に不満が残る。本書は、社会科学分野にかぎって、オリエンタリズムを乗り越える知、すなわち「脱オリエンタリズム」の可能性を明らかにしようとして編集されたものである。

その際、第一に考慮されなければならないことは、この概念がさまざまな陥穽へと導きかねないことである。脱オリエンタリズムへの指向がミニ・オクシデンタリズムとして権力的知の再生産を産みだしかねないこと、あるいは世界の画一化傾向が脱オリエンタリズムの成立をどこまで許容しうのかなどの吟味が必要である。

さらに、脱オリエンタリズムがとるべき方向については、執筆者のあいだで意見が二分した。第一の見解は、オリエンタリズムという概念自体がオクシデントにより作りだされたものであるから、オリエンタリズムに依拠して脱オリエンタリズムを構想することは結局オリエンタリズムの再生産にほかならなくなるとするものである。したがって、この立場の脱オリエンタリズムは、オリエンタリズム対オクシデントという二項対立を拒否しなければならない。それにたいして、私も賛成する第二の見解は、オリエンタリズムの知の伝統のなかにオクシデントの権力的知の体系を乗り越える可能性を見いだそうとするものであり、本書では仏教を再評価する三論文が収録された。なお、本書は社会科学研究所所属教員の共同研究成果の報告書をもとに、単行本として編集されたものであることを付記しておく。（こまい・ひろし 社会科学系教授）



とぴらくす

〔全国〕

平成10年度国立大学図書館事務部長会議

1月21日（木）三重大学の当番で開催されました。

〔協議事項〕○学内における図書館資料の保存と廃棄のあり方について○大学図書館の組織改革および学内関連組織との連携のあり方について○今後の大学図書館に求められる専門的職員の養成・確保の方策について○外国雑誌の購入に係る予算の確保あるいは学内調整について○大学における

学術情報基盤整備のあり方について○紀要・研究報告書等の電子化並びに公開の促進について○地域に開かれた大学図書館のあり方について○大学図書館の学習図書館機能の充実、強化方針について、ほか

〔学内〕

第214回附属図書館運営委員会（12月開催）

〔審議事項〕○附属図書館長候補者の選考に係る意見書について○図書館の資料購入費について、

ほか

〔報告事項〕○附属図書館ボランティアとの懇談会について○平成10年度附属図書館防災訓練の実施について○平成10年度国際交流基金司書日本語研修参加者の研修について○教育改善推進費（学長裁量経費）の示達について、ほか

第215回附属図書館運営委員会（1月開催）

〔審議事項〕○平成11年度附属図書館年次計画案の策定について、ほか

〔報告事項〕○蔵書構成専門委員会（第51回）について○附属図書館ボランティア委員会（第11回）について○体育・芸術図書館委員会（第19回）について○押印の見直しに伴う細則等の改正について○平成10年度国立大学附属図書館事務部長会議について、ほか

平成10年度図書館職員研修会開催

中央図書館集会室において開催しました。

1月19日（火）には国立西洋美術館主任研究官の波多野宏之氏に、「電子美術館の可能性と問題

点」と題して、美術館の電子化への取り組みから、現在現場の抱えている問題まで新鮮な話題について講演していただきました。電子化という共通のテーマを持ちながらも、取り扱う対象が違うということで、また別の可能性と問題点があることを知りました。

2月15日（月）には新潟大学附属図書館事務部長の濟賀宣昭氏に「電子図書館の経営」というテーマで、電子図書館の経営理念から未来の電子図書館の予測まで、経営という観点から講演をしていただきました。続いて、九州大学附属図書館事務部長の熊谷俊夫氏に「図書館電子化における連携と協力について」というテーマで、九州地区における電子化推進に向けての連携と協力の実態や、ソウル大学における電子図書館との相互交流について講演をしていただきました。

いずれも、本学および近隣の大学の図書館職員等が多数参加し、熱心に聴講するとともに活発な質疑応答が行われ、有意義な研修会となりました。

掲示板

駐輪位置に気をつけましょう!!

図書館入口付近の点字ブロックの周囲やスロープの周りには絶対に駐輪しないでください。

- ・視覚障害者の安全な歩行のためには、点字ブロックの左右50cmの空間が最低必要です。
- ・車椅子が方向を変えるためには、少なくとも1辺150cm～170cmの動作空間が必要です。



こんな置き方をしていませんか？

図書館の相互貸借サービス料金の支払いについて

調査研究のために必要な図書が本学附属図書館に所蔵されていないときは、国立国会図書館や他大学図書館から図書を借りるサービスを行っております。これまではそのための郵送料等は原則として私費負担でしたが、平成11年4月からは予算登録コードによる校費振替ができるようになります。

また、外国から取り寄せる文献複写の料金についても、校費振替が可能となるよう現在検討を進めております。

平成11年度筑波大学附属図書館開館日カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

無印	中央・体芸・医学	9:00~22:00	大塚	13:00~21:10
枠	中央・体芸・医学	9:00~22:00	大塚	9:00~17:00
緑	中央・体芸・医学	13:00~18:00	大塚	13:00~19:50
黄緑	中央・体芸・大塚	9:00~17:00	医学	9:00~20:00
黒	中央・体芸・医学	13:00~18:00	大塚	休館
黄	中央・医学	13:00~18:00	体芸・大塚	休館
斜線	4館とも休館（9月25日・26日は筑波地区のみ休館）			

※ 臨時休館等の場合は掲示でお知らせします。